

令和6年度 第3回 日の出小学校学校地域連携運営協議会

日 時:令和7年2月28日(金)

11:10~12:10

場 所:日の出小学校会議室

○6年生を送る会参観 9:30~

○学校地域連携運営協議会 10:00~

1 学校長挨拶

2 3学期の児童、学校の様子について

校長から

- ・今日の6年生を送る会の様子が1年間の様子。
- ・紆余曲折はあったが、温かい学校に向けて取り組めた。
- ・個々の児童の課題、支援については皆さんのお力も借りていきたい。

3 後期学校評価について

校長から

- ・アンケートは児童全員、保護者はキッズビューでの回答295名。
- ・母数が違うので傾向として理解してもらいたい。
- ・前期は紙ベース、回答率が低かった。
- ・次年度は昨年度と今年度の後期を比べるようにすることが課題。

4 令和6年度の学校関係者評価について

児童、保護者、教職員の評価で大きく差が出ているもの

児童と保護者は高いが教職員は低いもの

- 「進んであいさつや返事をしていますか。」
- 「周りの人にありがとうの気持ちをもったり、伝えたりしていますか。」
- 「学習の中で見たり、聞いたり、感じたりしたものを生活に活かしていますか。」

校長から

- ・求めている姿が違っていることが違いとなっていると考えられる。

児童・保護者・教職員全体で低いもの

- 「周りの人の良いところを見つけて伝えていきますか。」

○「学習の中で、自分の思いや考えを周りに伝えることができますか。」

○「地域の人と関わったり、地域の行事に参加したりしていますか。」

#### 委員から

・伝える力、表現する力、関わりの強化が課題。

#### 児童・教職員は高いが保護者が低いもの

○「進んで学習に取り組み、授業の中で自分の考えを持つことができますか。」

○「学校の宿題や家での学習を計画的にできていますか。」

○「英語の授業は楽しく、わかりやすいですか。」

○「学習でタブレットを上手く使えていますか。」

○「先生は楽しく分かりやすい授業や教え方を工夫していると思いますか。」

○「先生はいじめのない雰囲気づくりをしていますか。」

#### 校長から

・タブレットについては学校の情報に関する評価は上がっているのですが、上手く伝わっていないのでは。伝え方が悪いのか、家庭でのタブレットの扱いに課題があるのか。

・保護者が求めているものとの違い。

#### その他

○教職員の回答→100%が多い。

#### 校長から

・自身が努力しているかという質問の仕方が影響か。

#### 主体的な学び

・学習したことを生かす場を作る取り組みとして、夢広場へ成果物を掲示し、感想をもらい、フィードバックするという取り組みには一定の成果はあった。

・ICTの活用率は市内でも平均より上である。

・習熟度別の学習に向けた学年教科支援教員の本来の役割まで活用しきれていない。  
人的資源が足りない。

#### 自他を尊重する心

・自他の尊重や関わりが苦手。

・あいさつの必要性を認識させる必要がある。

・登校渋りの課題。

### 健やかな体

- ・感染症の対策は引き続き行っていく。
- ・長縄記録会の表彰→吹奏楽も参加。自分達で考えて取り組んでいる。
- ・怪我について→生活スタイルを加味して対応する。
- ・安全点検→保護者とやってみるのもよい

### 豊かな関わり

- ・取り組みが伝わらない部分をどう克服していくか。
- ・地域との関わりは低いまま。全く関わっていないわけではない。地域活動、所属感をどこまで求めるか。

### 特別支援教育の充実

- ・けやき学級と教員間との連携→日の出小のスタイルができてきた。
- ・教室に入れない児童の対応→けやき学級での対応も行っている。本来の目的ではないが小まめな支援は引き続き行っていく。

### 小中連携

- ・幅を広げるのではなく、やっていることの深まりを。
- ・フィードバックの連鎖→「やって良かった。」と感じられるようにする。

## 5 意見交換および情報交換

### 委員から

- ・人手不足と丁寧なケアは相対する。人手は増やせないか。増えないのであれば業務効率を上げていく。ペーパーレス化やタブレットでの情報提供。  
一元化できたら。紙と電子の併用は良くなったとは言えない。
- ・遊び時間の児童の様子は。休み時間の過ごし方も大事。体づくり、コミュニケーション等。使い方の工夫も。
- ・評価項目についてタブレットの活用は、教職員と保護者の受け取り方が違うのが当たり前の中で、アンケートを取る必要があるのか。
- ・タブレットについては保護者が求めているものとの差があるのでは。
- ・先生に相談しにくい→児童の伝える力が難しい。教職員だけでなく、友達に相談できる力も大切ではないか。
- ・6年生を送る会を見て、力を持っていることは感じ取れた。
- ・職員の数、場所の不足を地域へ広げるには、学校の必要感を感じ取るためにどのような、どのような場面で等の具体的な提示があるとよい。時間の取れる高齢の方の協力も

あるとよい。

- ・先生方がアンケートの中で100%の意識になっていることは、自信をもって指導されているのが伝わるのでうれしく感じる。
- ・学んだことを生かす場については努力は見られる。しかし、既習を生かして学ぶ場が薄く感じる。先生方はそこを意識する必要がある。
- ・伝え合う力を伸ばすには、先生が引き出すことが大事。
- ・子ども達は生活経験が薄い。雨に濡れる、お湯を沸かす経験等。学びに生かせない。伝える力が薄くなったのはコロナの影響もある。みんなで話し合っ高める場を作ることは今後の課題。
- ・認め合う場が必要。6年生を送る会ではしっかりできていた。日々の授業の中で認め合うこと。先生方がアンテナを高くすることが大事。
- ・特別支援教育については担任を始め、周りもよくやっている。子どもたちがしっかりと隠された力を引き出して、発揮している。
- ・怪我の確認→どのような怪我が多いのか。
- ・特別支援の交流は交流クラスに行くだけではなく、児童がけやき学級に遊びに来るという交流もよい。うまく回っていると感じる。
- ・職員の任用については提案の通り朝の登校支援サポートの人材を求める内容で良い。
- ・友達に相談する子もいるのか。小学校の課題は園の課題。
- ・幼稚園では体操教室→体全体を使って遊ぶようにしている。
- ・園の特徴として人数が少ない。集団で遊ぶ経験が必要。
- ・小さいうちに心の傷等にも耐えられる経験があると良い。
- ・怪我をする経験が少ない。
- ・今の子ども達は大人が見る時間が増えている分、親が先行して予防していくことも多いので考えていく必要がある。
- ・個別最適な学びが一番実践されているのが特別支援学級ではないか。
- ・評価アンケートが非常に細かく、作るのが大変だったと感じた。

#### 校長から

- ・人員の増員は法律で決まっているのでできないが、市のサポートで学年教科支援教員等の配置はある。市や県に要望は出している。しかし、募集をかけても成り手がない。
- ・児童の相談についてはSLCも活用しているが、難しい。学級担任、管理職が見取ることが大事。
- ・児童の怪我については、自分で転んで、怪我をしているケースが多く、防ぐことが難しい。体幹が弱く感じる。日常生活全般での取り組みができれば良いのでは。転び方

- を知らない。関係性も含め、予防策が多く、考えていく必要がある。
- ・外遊びの児童は減っている。教室で絵を描いている児童も多い。
- クラスレクで外遊びを推奨するクラスも。

## 6 今後の予定

### 第4回日の出小学校学校地域連携運営協議会

日程 令和7年3月21日(金)

受付 8時45分～

協議 9時00分～10時

○令和6年度日の出小学校学校地域連携運営協議会の課題と成果について

○来年度の学校運営について